

バイオマスセンタールフラン 「デイスカバー農山漁村の宝アワード」選定

「デイスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定する農林水産省のプロジェクトです。第8回選定には651件の応募があり、みやま市を含む全国34地区および4人が選ばれました。

12月9日に総理大臣官邸で行われた授与式で、宮崎副市長が代表して選定証を受け取りました。



▲(左から)赤池内閣府副大臣、宮崎副市長、下野農林水産大臣政務官、林座長



▲農林水産省ホームページ

選定されたルフランの取り組み

ルフランは、廃校となった旧山川南部小学校の校舎をカフェ、食品加工室、シェアオフィス、レンタルオフィスなどに整備した施設です。バイオマスセンターと共に資源循環を体現する施設として、また、市内外の皆さんが集うにぎわいの場として利用されています。

オープン当初の2019年度は、カフェ来客数1536人、食品加工室利用回数32回、オフィス利用者10人でしたが、今年度はカフェ来客数2500人、加工室利用回数320回、オフィス利用者100名に達する見込みです。ルフランの様子は、Instagram、YouTubeでも発信しています。



▲ルフランカフェ



▲ルフランマルシェ



▲シェアオフィス



▲加工室



▲市ホームページ



▲ルフラン Instagram



▲ルフラン YouTube

生ごみ分別アワード2021

生ごみ資源化推進とバイオマスセンターの円滑稼働のため、生ごみ分別にご協力いただいた地域を「生ごみ分別アワード」として2部門で表彰します。

表彰内容

- ▼各校区の1位区…表彰および副賞
- ▼順位1〜5位…くすのこロール(トイレットペーパー)
- ▼順位6位…プラスチックごみ回収袋
- ※くすのこロールとプラスチックごみ回収袋は、区の戸数分を3月末までに配布します。

採点方法

ごみ収集業者が、生ごみ回収時に桶の中を確認し、収集量を3段階で採点しています。あわせて、異物が混入していないか確認し、記録しています。

生ごみ分別量の多い部門 (1桶あたりの「生ごみ量」が多い)

市内順位	校区	1位区
1	下庄	北高柳
2	山川南部	小萩
3	水上	上坂田
4	上庄	二百丁
5	本郷	本郷一
6	山川東部	赤山
7	開	黒崎開北
8	南	堀切南
9	二川	濃施新町
10	清水	堤
11	江浦	徳島第一
12	岩田	今福
13	大江	上小川
14	竹海	西竹飯
15	飯江	舞鶴



異物混入の少ない部門 (「プラスチックなどの異物混入」が少ない)

市内順位	校区	1位区
1	大江	北広田
	水上	禅院
		小田西
4	清水	女山
5	飯江	舞鶴
6	下庄	矢部川二
		吉岡
8	山川南部	三峰
		原町下
10	南	下小川西
11	竹海	海津
12	山川東部	河原内
13	二川	下楠田
14	開	南新開
15	江浦	江浦西
16	岩田	今福
17	本郷	作出
18	上庄	横道

山川町に移住した夏目さんにインタビュー

生ごみ分別って とてもいいですね

大牟田市から山川町に移住してきた夏目さん。ルフランのレンタルオフィスを活用して障がいのある人たちへの就労支援事業を展開するほか、カフェ営業や子ども食堂などさまざまな活動に取り組んでいます。

夏目 維子さん

「生ごみの分別が実施されているのは知っていました。環境問題には昔から関心があったので、自分でコンポストを使って生ごみを肥料にしていたこともありましたが、長続きせず(笑)。みやま市は行政主導で行っているのもとても助かります。人も優しく自然にも恵まれた土地で、いいところに引っ越してきたと思っています」

夏目 尚さん

「昨年10月からバイオマスセンタールフランの校舎を活用して、就労継続支援A型事業を運営しています。障がいのある人が地域の人たちと関わりながら、楽しく仕事ができる場所を目指しています。カフェは木曜日に営業していますので、地元で取れた野菜や果物を使った美味しいランチをぜひ食べに来てください」



▲カフェで出た生ごみも資源化



▲レンタルオフィスで活動中